

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス ほっぷ				公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・広い和室にて活動している。午前中の活動には適切		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	・子どもの利用人数に合わせ、3~6名の支援員を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	5	・古民家のためバリアフリー化はされていないが、段差等気を付ける必要がある箇所は伝え、全支援員が目配ったり、危険な所では、支援員が付いている	・利用児の人数に対して、トイレ・洗面の数が少ない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	・毎日の支援後に清掃、定期的な大掃除を行っている	・夏・冬にエアコンの効きが悪いことがある→近日中に、部屋の広さ以上に対応するエアコンを設置検討中 ・畳・板間・襖等傷んできており、修繕が必要→修繕、ラグの設置等を検討中	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・なるべく、遊びや学習など、個々の特性に合わせて指導訓練室を分けている	・個別に使用できる部屋はあるが、二階なのですぐに使用しづらい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		・ゴール会議(全利用児の今月の目標・具体的な支援内容を決定、前月の目標の評価を行う)にてPDCAサイクルをまわしている。会議に参加できなかった支援員も、目標一覧にて確認し、共通認識を持っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・職員会議等で話し合ったり伝えたりして把握している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・毎月の職員会議や代表との1on1にて、意見を話したり聞いたりする機会がある		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		・第三者による外部評価はまだ受けていない。今後検討していきたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・研修を受講し、支援の資質向上を図っている	・機会はあるが、中々参加する時間が取れない。→後でスマートフォンで視聴できるようにしている	
適切な+	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・HPIにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・利用前の契約時、保護者より詳しく聞き取りを行っている		
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・毎日必ずミーティングの機会を持っている ・支援担当者会議やゴール会議・職員会議内にて、利用児の現状・支援内容について話し合う機会を設けている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・計画や、会議議事録を全員が目を通すようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	・毎月ゴール会議を行い、利用児全員の課題と支援内容を決定・評価を行っている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	・4つの支援を取り入れられるよう検討し、本人・ご家族の現状に合った具体的な支援内容を設定するよう留意している		

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・季節ごとの製作やレクリエーション、外出支援、個別学習等、幅広い支援プログラムを提案し、分担して行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・前年度の取り組みを記録しておくことで、新しい活動を取り入れるよう工夫している ・話し合いをし、固定化しないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・短時間ではあるが、机上課題等の個別療育と、季節の行事やレクリエーションにて、集団活動を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・午前/午後それぞれのサービス提供時間前のミーティング、支援中も声を掛け合い、連携して支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・送迎終了後、その日の気付き、あった出来事等共有し、全スタッフに共有が必要なことは、支援記録や、後日口頭などで、漏れのないよう共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・毎日全利用児の支援記録の記入を行っている。気付いたことや困っていることは話し合い、次の支援へ繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・6か月ごとのモニタリング、関係機関からのご依頼があった際に、都度行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	3	・日々の支援記録の確認・現場の様子の聞き取り、モニタリングを確認し、参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	・主に、相談支援事業所、通学している小学校等と情報交換を密に行って、共通認識を持てるようにしている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	・送迎時、サービス担当者会議での情報共有、相談支援専門員を通して、情報の交換を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	・サービス担当者会議にて、情報共有を行うことがある	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		・児童発達支援センター主催の研修を受講している	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	7		・利用時間が約1時間と短いこともあり、外出する機会があまりなかったが、今後は児童センターの利用など検討したい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	・毎日、連絡帳を利用したり、送迎時に、子どもの様子・活動の内容を伝えあって、良いやり取りができています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	・保護者向けの研修・講演会等の情報は、LINEにて周知している		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	・契約時に丁寧に説明を行っている。支援プログラムは、HPにて公開中		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・契約時等に、丁寧に聞き取りを行い、希望される支援の方針決定に繋げている		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	1		・説明する時間が設けられていない点を改善し、今後は丁寧な説明をしていきたい	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・定期的ではないが、相談があれば、話を聴いたり助言をしたり、必要であれば、面談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5		・そのような機会・イベントは今年度は未開催なので、今後企画運営していきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・連絡帳、電話、LINE、送迎時に直接などお話を聴き、必要時は迅速に面談の予定を立てている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	2	・今年度は、LINEにて、季節の行事の際の様子、写真を発信した	・今後は、活動の様子などをもっと見て頂けるよう、発信方法等検討していきたい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・鍵付き書庫にて保管をしている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・連絡帳は、具体的にしっかりと様子が伝わるように記入している ・連絡帳、電話、LINEを取り入れ、利用しやすいツールにて情報伝達を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	・地域住民を招いて行事を行うことはないが、地域の方との関わりが持てるよう、人形劇やマジックショーなど、ゲストを招いてのイベントを開催している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・職員が定期的に動画を見たり、訓練を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・毎月一回、防災訓練やBCP訓練を子どもたちと共に行い、非常時に対応できるように対策している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		・てんかん発作が起きた時の対応マニュアルを作成、起きた際の行動手順や連絡先などを見やすい場所に掲示しており、協力体制が取れるようにしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			・現在該当者なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	・必要な訓練、研修の実施をしている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	・契約時等に避難場所や緊急時の利用について等説明を行っている ・指定避難場所の宮川中学校までの非難訓練を行っている	・緊急時の利用対応について、内容の見直し・更新をした場合、保護者さまへ共有をする
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・ヒヤリハットの記録にて全職員に共有し、今後の対策について話し合いを行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・研修の受講、チェックリストを全職員が行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1	・マニュアルの作成をしている。現状として、身体拘束の事例はなし		